

ISSN 0469-4767

名古屋大学

国語国文学

100

2007年10月

後藤重郎先生追悼号

名古屋大学

国語国文学会



故 後藤重郎先生

目次

論文

万葉集の編纂と大伴家持

— 三先人の見解とその検討 —

村瀬 憲夫 (1)

古今集の天地創造

「いそのはまにつるのこゑごゑなくを」に関する一考察

田中喜美春 (13)

— 紫式部集試論 —

安藤 重和 (28)

勅撰集撰集資料としての『伊勢物語』『大和物語』

— 『新古今集』『新勅撰集』『続後撰集』『続古今集』

を中心に — 安田 徳子 (41)

狂言（釣狐）を読む

山下 宏明 (55)

「加賀見山田錦絵」覚書

— 草履打ちの実説と実録をめぐる —

鈴木 光保 (114)

西尾実と「国語科」教科書

— 「戦後検定期初」教材における「連続性」の問題を

中心に — 朴 貞蘭 (129)

「擬音」のリアリティ

— 音声化された文学作品としてのラジオドラマ —

広瀬 正浩 (143)

動作の結果継続を表す名詞修飾の歴史的動態

釘貫 亨 (158)

命令形の働きに関する考察

— 意志動作としての性格づけと動作主の設定 —

石川美紀子 (184)

公忠詠の語り

— 『大和物語』第四段論 —

玉田 沙織 (70)

大斎院サロン考

東 望歩 (85)

『発心集』の入水譚考

岡山 高博 (100)

回想文

後藤先生のこと

助川 徳是 (185)

後藤先生のこと

村上 學 (187)

後藤重郎先生

田島 毓堂 (189)

後藤先生の思い出

杉戸 清彬 (192)

後藤先生を囲む会の思い出

神山 重彦 (194)

奈良晒

長島 弘明 (196)

萩野恭茂著

『虹と日本文藝—資料と研究—』

楊

昆鵬

(235)

論文要旨

(237)

寄贈書・受贈誌

(242)

索引

『名古屋大学国語国文学』目録51号～99号

(245)

書評

坪井秀人著 『感覚の近代 声・身体・表象』

馬場 伸彦 (205)

服部直子著 『尾張俳壇攷—近世前期俳諧史の

一側面—』

野田 千平 (206)

佐藤和正著 『小説の面白さを語ろう』

高木 徹 (213)

宮地朝子著 『日本語助詞シカに関わる構文構造史的

研究—文法史構築の一試論』

北村 雅則 (226)

塩村耕著 『こんな本があった！江戸珍奇本の世界

古典籍の宝庫岩瀬文庫より』

加藤 弓枝 (227)

彙報

(273)

編集後記

新刊紹介

名古屋大学日本語研究会G A 6編著

『ふしぎ発見！日本語文法。』

長澤 理恵 (234)

編集後記

本会誌百号は、後藤重郎先生追悼号となりました。今回の論文は、依頼によるものと、通常の投稿論文との二種類に分かれます。

また、後藤先生にゆかりの回想文を掲載しました。これも依頼に応じてくださったもので、その範囲は、編集委員会によって、旧教員の範囲にとどめさせていただきました。

今年度から、本誌の編集委員会が正式に発足しました。日本文学・日本語関係の文学研究科専任教員がその委員を担当し、論文審査の委員への依頼に基づいた最終責任は、会長を委員長とする編集委員会にあります。

そして、今後の会誌の発行は、諸般の事情により、年一回となります。

皆様のご支援をお願いします。

(高橋 亨)

名古屋大学国語国文学 第百号

印刷 平成十九年十月三十一日

発行 平成十九年十月三十一日

編集 名古屋市千種区不老町

名古屋大学文学部内

名古屋大学国語国文学会

(代表) 高橋 亨

〈振替 00860-0-19333〉

TEL (〇五二) 七八九-二二四二

内線二二四二

印刷所 名古屋市瑞穂区苗代町二九-二〇

株式会社 アイコー社

TEL (〇五二) 八二二-九五一一